



PICFA
EXHIBITION
2026

病院が 美術館になる日

vol. 2

□会 期 2026. **2/7 sat** - **2/22 sun**
□開館時間 **ALL DAYS**
Opening Hours **11:00-19:00**

□休館日 **Every Monday Close**
会期中 毎週月曜日は休館
※医療は通常どおり受付いたします。

□入場料 + ご入場の方全員に 限定オリジナルステッカープレゼント

□最終日は17:00まで □入場は閉館30分前まで
□PICFAメンバーアーティストの出勤時間は
会期中11:00~17:00となりますので、
各日17時以降は退勤し、不在となります。
□12:00~12:30はPICFA施設内屋食・休憩
時間のため、アトリエ各作業室内の見学はできません。

Admission
Fee **¥1,000**

□大学生以下、障害者手帳または指定難病医療受給者証の所持者
とその介助者1名は入場無料
□基山町民は、町民割にて入場料500円
(各身分証等確認できるものをご持参ください)
□二回目以降ご来場の際、チケット半券ご提示で入場無料

□会 場

きやま鹿毛医院内 特設ギャラリー
〒841-0204 三養基郡基山町大字宮浦399-1

@Kiyama KAGE Clinic

4階会場
Floor-4F

1階会場
Floor-1F

会期中、PICFAアトリエ
各室内を開放いたします。

・アトリエP ・アトリエI
・アトリエC ・アトリエF
・アトリエA ・大作業室
・SP(スタジオPICFA)
・リビングルーム

PICFA
EXHIBITION
2026
特設サイト



□開催コンテンツ

医院建物内を会場に、4階会場と1階会場にて開催されます。
会期中は、PICFAアトリエ各室内を開放し、メンバーの制作風景を自由にご覧になれます。

Art **GALLERY EXHIBITION** :
アート作品の展示・販売

PICFA在籍アーティストを軸に、障がいの有無を
問わず枠を超えた、国内外で活躍しているアーティ
スト(現代アート、学生など)の作品を一堂に展示し、
その全ての作品を購入することができます。

Art **GALLERY INTERIOR Collaboration** :
展示空間コラボレーション

supported by 株式会社 東馬 **tohma**
SIMPLY ELEGANT

佐賀の『諸富家具』を継承する家具メーカー株式会社東馬とのコラボレーションにより、アートのあるリビングルーム
のようにくつろいだり、カームダウンにも利用できる、鑑賞する視線や姿勢や過ごす時間の角度を変える装置として
会場内を彩ります。また展示・設置する家具アイテムは全て購入が可能です。

Art-Goods **SALES** :
アートグッズの販売

PICFAグッズをはじめ、出展作家関連のグッズやコラボアイテム
の販売を行います。展示作品も購入可能ですので、気になった作品
については、お気軽にスタッフにお声掛けください。

Food Court **Collaboration** :
コラボレーション出店

□最新のコラボ情報や詳細情報はSNS等をチェックください!

ドリンクやフード、遊び・レクリエーション系の
体験など、さまざまなコラボ出展などでゆっくり
と寛ぐことができます。会期中は病院が医療の
場だけでなく“遊び場”となって、文化的な交流
の場になります。

Special **TALK EVENT** :
スペシャル ギャラリートークイベント

事前予約不要 / 参加無料 **2/11** *Holiday wed* **13:30-15:00**

テーマ「アートと街・人」

行政・基山町 町長 松田一也
アーティスト・彫刻家 はしもとみお
バイリンガルコーディネーター 岩城 千珠
福祉・PICFA 施設長 原田啓之

福祉や医療の現場が、新たな交流の
カタチとして、アートに何ができるのか?
地域交流から都心へ。はたまた海外との
交流や、国内外のアート・福祉事情(デンマークの今な
ど)について、さまざまな視点・角度から、可能性を探る
クロストークです。



Art **Journey** :
アートジャーニー

事前予約制 / 参加無料 [各定員先着15名程度] (1) **2/7 sat, 14 sat, 21 sat** **11:00-12:00** (2) **15:00-16:00**

PICFAの世界を、旅しませんか? PICFA施設長の原田と一緒にアトリエや院内、展示会場内をまわります。
展示作品や院内はもちろん、PICFAメンバーが作品を制作する工程や、経験体験を積み重ねていくことで彼らが変わって
いく様子などを実例を交えてお話をしながら展示会をアテンドさせていただきます。



Art **WORK SHOP** :
アートワークショップ

事前予約不要 / 別途有料 **2/7 sat, 8 sun, 11 Holiday wed, 14 sat, 15 sun, 21 sat, 22 sun**

似顔絵アートワークショップ と アート缶バッジワークショップ
PICFAアトリエ内にてPICFAメンバーの個性に富んだ特徴的なタッチで似顔絵を描いてもらいませんか。アート缶バッジ
では、PICFAメンバーが描いた下絵を元に自由に着色や加筆をして、あなただけのコラボレーション作品の完成です。

Art **LIVE PAINT** :
アートライブペイント

観覧自由 **2/7 sat, 8 sun, 11 Holiday wed, 14 sat, 15 sun, 21 sat, 22 sun**

出展アーティストによるスペシャルライブペイント。
心揺さぶるアートが出来上がっていく様子を、ぜひ間近でご覧ください。

【主催】医療法人清明会 障害福祉サービス事業所 PICFA
【後援】基山町
【出展協力(一部作品)】 株式会社ほるぶ A&I (エーアンドアイ)

展示会に関するお問合せは:
きやま鹿毛医院内 障害福祉サービス事業所 PICFAまで (「ピクファ展について」とお伝え下さい)
電話: 0942-92-2650 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦399-1

きやま鹿毛医院 **PICFA**

基山駅より徒歩約7分



障がいの有無を問わず枠を超え関係する、 国内外で活躍しているアーティストの作品を一堂に展示

障害のある人の制作風景やアートが、病院内に存在することで、物事の見方や視点を変える場となり、文化的な共生社会の一躍になりうる場になる。障害ってなに？病院の役割って？アートって？の疑問に「こうあるべき」という概念を捨てることから始まる。そんな福祉や医療の現場が新たな

なる交流のかたちを体験できる展覧会です。
2017年に医療法人清明会きやま鹿毛医院内にオープンした障害福祉サービス事業所 PICFA（ピカファ）。日々制作を行っているアトリエや元オペ室の大作業室、現在も稼働している鹿毛医院の空間なども美術鑑賞の場として展開しています。

期間中は、PICFAメンバーのアトリエを週末も限らずに大開放。制作に取り組む日常風景や作品が生まれる瞬間と出会うことができます。展示する作品はPICFAメンバー18名の作品を軸に、全国の障害のある作家の作品、また障害の有無を問わず枠を超えた国内外のアーティストの作品展示も行ないます。

週末には、参加型ワークショップなどのイベントやコーヒー、フード等のコラボ出店のコンテンツも出現。コーヒーやスイーツをアトリエや院内で楽しみながらゆっくりと寛いで鑑賞することができます。ワークショップやイベント、ライブペイント、ギャラリートークなど盛り沢山。病院医療や福祉として、広く開放的で文化的な交流の場になります。

PICFA EXHIBITION 2026 病院が美術館になる日

〔出展作家・団体（予定）〕

PICFA メンバー 18名

加田有紀 Kada Yuki	西依 孝 Nishiyori Takashi
北村彰吾 Kitamura Shogo	篠崎桜子 Shinozaki Sakurako
本田雅啓 Honda Masaharu	トン嘉鈴カレン Karen Ka Lynn Tong
園田瑞樹 Sonoda Mizuki	樋口裕乃介 Higuchi Yunosuke
笠原鉄平 Kasahara Teppei	包行 想 Kaneyuki So
安永憲征 Yasunaga Noriyuki	木村信隆 Kimura Nobutaka
杉野はるか Sugino Haruka	鈴木靖葉 Suzuki Yasuha
中川原あすか Nakagawara Asuka	東島ゆきの Higashijima Yukino
楠原正隆 Kusuvara Masataka	福井ちとせ Fukui Chitose

グッドジョブセンターかのん〈徳島県〉、
れもんワークス〈徳島県〉、
パブロ・ピカソ、マルク・シャガール、
フジコヘミング、
小池アミイゴ、はしもとみお、
八尋 晋、森 正彦、
佐賀大学学生作品
他

出展作家・団体 及び各コンテンツイベント
の詳細や最新追加情報については、
特設 WEB ページ をご覧ください。



<https://sites.google.com/view/picfa10>

Photo : Shogo Kitamura @PICFA

障害ってなに？ 病院の役割って？ アートって？ の疑問に
「こうあるべき」という概念を捨てることから始まる。 そんな福祉や医療の現場が新たな交流のかたちを体験できる空間での展覧会